

学校名	福島県立船引高等学校	校長	伊豆 幸男
住所	福島県田村市船引町船引字石崎 1 5 番地の 3		
TEL	0247-82-1511	URL	http://www.funehiki-h.fks.ed.jp/

「地域復興～船高アクティブリーダー育成プロジェクト」

福島県教育庁社会教育課「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」

【取組の概要】

田村市唯一の県立高校である船引高校は、地域貢献、地域のリーダー育成を目指し、教育活動を行っています。

今年度、県教育庁社会教育課の「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」の指定をいただき、1・2年の30名の生徒が、高校生として、地域である田村市の復興のため何ができるかを考え、そして、福島県の復興を他県にアピールする活動をしています。

○都路訪問

平成 29 年 8 月 10 日（木）、田村市協働まちづくり課にお世話になり、都路村を訪問しました。田村市復興応援隊にも協力いただき、川魚の養殖場を復活させた吉田栄光さん、農園を再開した坪井久夫さん、「よりあい処 華」を運営している今泉富代さん、90 年続く旅館を再開した吉田幸弘さんからお話を伺いました。また、都路の復興について、協議する機会を得ました。生徒からは、「今の都路に必要な施設は？」等たくさんの質問が出て、大変有意義な場となりました。お話を伺った4人の方々が、「都路の未来のために、未来の子どもたちのために頑張っている。」と話されているのが大変印象的でした。

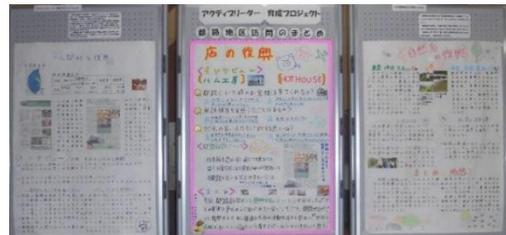
参加した生徒からは、「都路を以前のようなすばらしい町にしようとする気持ちが心に響いた。」「SNS等で、都路の良さや安全性をPRしたい。」等の感想がありました。

生徒たちは、「農林・水産」、「人」、「店」の3つの班に分かれ、さらに取材等を行いながら、都路の復興の現状や課題、それに対する自分達の考えをまとめました。

今回の訪問は、田村市協働まちづくり課さんに資料を御提供いただいたほか、お話を伺った方々との調整など、大変お世話になりました。ありがとうございました。



▲川魚の養殖場にて



▲考えをまとめて作成したポスター

○山形県立左沢高等学校への訪問

平成 29 年 11 月 15 日（水）、山形県立左沢高校を訪問しました。左沢高校は、1 学年 3 クラスの総合学科の高校です。剣道の強豪校で、全国高校総体（インターハイ）女子 37 年連続出場、平成 4 年には、全国三冠達成（選抜・インターハイ・国体）などすばらしい成績を残しています。（とても紹介できませんので、詳しくは Web ページをどうぞ。）

今回は、1 年生 94 名との交流となりました。左沢高校は、平成 25 年度から 1 年次に、「東日本大震災ボランティア」を行っています。今年度は、宮城県の山元町で花植作業を行うなど、震災復興に取り組んでいます。

はじめに、互いの高校の説明を行いました。次に、船引高校の「農林・水産」「人」「店」の3班が都路訪問等を通して復興について考えをまとめたものをスクリーンに投影しながら説明しました。その後、2校で15班に分かれて、協議を行いました。和やかな雰囲気の中、和気あいあいとしながら活発な意見交換となり、とても充実したすばらしい交流ができました。



▲船引高校からひょうたんの工芸品を渡しました



▲船引高校の発表

今後は、プロジェクトを通して学んだことを校内や船引高校のWebでの発表を通して、さらに学びを深め、地域復興についてできることから実践することを考えています。

□プロジェクトに参加した生徒の声

今の福島の姿を知ることができたので、もっと知るために自分から調べるなどを通して、知識を深めたいと思います。また、今後、自分たちが何をすれば良いのかをしっかりと考えたいです。